
■■■ 福祉社会学会 ニュースレター 第 33 号 ■■■
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.33

[http:// jws-assoc.jp/](http://jws-assoc.jp/)
E-mail: ws@univcoop.or.jp

***** INDEX *****

- 第12回大会のテーマセッション報告と自由報告の募集について
- 第12回大会へ応募があったテーマセッションとその趣旨
- 現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に
- 事務局からのお知らせとお願い

※この号はメーリングリストおよびWeb上での配信のみとなっています。

■第 12 回大会のテーマセッション報告と自由報告の募集について

福祉社会学会第 12 回大会が 2014 年 6 月 28 日(土)・29 日(日)に東洋大学白山キャンパス(東京都文京区白山 5-28-20)にて開催されます。

そこで、下記の通り自由報告部会とテーマセッションにおける報告を募集いたしますので、奮ってご応募ください。なお、報告時間は 1 人 30 分を持ち時間とし、20 分発表、10 分討論を標準としますが、申込み数によって調整をお願いすることもあります。

テーマセッション報告は、下記のテーマセッションの趣旨にて報告を募集するものです。申込み状況により、コーディネーターの方が報告採択をおこないますが、万一、テーマセッションで報告できない場合も自由報告部会で報告することが可能です。

<自由報告またはテーマセッション報告申込>

自由報告またはテーマセッション報告をご希望の方は、下記の URL にて、申込要領・申込書などをご確認のうえ、指示にしたがって、申し込んでください。

http://jws-assoc.jp/taikai/012taikai_bosyuu.html

特に下記にご留意ください。

- ★ 募集は電子メールのみの受付になります。期限はメールの受信時点です。
提出先アドレス : jwsa2014@freeml.com
- ★ 「申込書」の応募締め切りは、2014 年 3 月 15 日(土)です。
申込書(摘要 200 字を含む)は上記 URL より Word ファイルをダウンロードして必要事項を記入のうえ、メール添付にてお送りください。
- ★ 申し込み者には受領通知を電子メールにて返信します。3 月 17 日(月)までに返信がない場合は、上記アドレスにメールにてお問い合わせいただくか、須田木綿子 (yukosuda@toyo.jp) または TEL 03-3945-7439 までご連絡ください。

<予稿原稿の提出について（報告予定者の方々へ）>

★「予稿集原稿（A4版2枚）」の提出期限は4月5日（土）となります。お間違いならびに提出遅れのないようをお願いいたします。上記ウェブページよりダウンロードした「予稿イメージ図」の書式にしたがって記入したWordファイルをメールに添付して送信してください。

提出先アドレス：jwsa2014@freeml.com

■第12回大会のテーマセッションとその趣旨

★テーマ：地域包括ケアにおける「見守り」再考

コーディネーター： 山井理恵 会員（明星大学人文学部 大学）

趣旨：

本セッションでは、地域包括ケアにおける「見守り」について、その意義や実践方法、克服すべき課題等について議論を深めたい。

「安心生活創造事業報告書」（2012）は、「見守り」を①早期発見、②早期対処、③危機管理、④情報支援、⑤不安解消の五要素で構成されるものにとらえ、事業の一つの柱としている。「東京都の地域ケアを推進する会議報告書」（2011）、「社協・生活支援活動強化方針」（2012）においても、行政や社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域住民等の「見守り」事例が論じられている。東日本大震災後の支援においても、「見守り」は方策の一つとして認識されている。

だが「見守り」は必ずしも明確に定義されておらず、多様な側面を含む。アクターは、専門職と地域住民に大別される。近年は早期発見への期待から、地域住民による「見守り」が論じられる傾向にある。一方、地域住民のつながりが弱体化する状況下で、「見守り」アクターを確保するために、公営住宅管理者、ライフライン事業者、郵便、新聞配達店、商店等に対しても、「見守り」に協力することへの通知、職業団体との提携、研修等が実施されている。さらには、「見守り」を商品化（IT活用も含む）する試みも見られている。

このような状況のなか、「見守り」を期待されるアクターからは、近隣住民や顧客の個人情報を自治体等に提供することへの戸惑いも聞かれている。さらに、国や自治体の財政難を理由に地域住民のつながりを利用することへの懸念、「監視社会」からの「見守り」に対する懸念も看過できない。

本セッションでは、以上のような論点を含む「見守り」について、政策立案者、専門機関、当事者、地域住民など、多様な角度からの実証的な研究報告を比較検討することで、今後の地域包括ケアにおける「見守り」のあり方や課題について議論を深めていきたい。多様な視点・領域から「見守り」を論じた研究報告を期待する。

■現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に

本学会での入会の次回承認は、6月大会時に開催予定の理事会となりますが、現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方も以下の手続きをすることによって、報告（自由報告、テーマセッション報告）のお申込みを受け付けいたします（共同報告で、現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

(1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込み締切り時点の3月15日（土）必着にて、福祉社会学会事務局（〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学大学院人間環境学研究院 高野和良研究室

気付)宛て、入会申込書を郵送でお送りください。なお、その際、「大会報告申込み希望」であることを明記してください。

- (2) 同時に、大会報告申込みも、申込み要領にしたがい、3月15日(土)までに、担当研究委員宛て、電子メールで申し込んでください。なお、その際、「事務局に入会申込書送付済み」を明記してください。
- (3) 庶務理事ならびに理事会幹事会にて入会申込書の確認をさせていただいたうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で、追加の確認事項や調整などが必要になりました場合は、庶務理事(高野和良)よりご連絡を取らせていただきます。
- (4) 仮入会の状態にはなりますが、4月5日(日)提出締め切りの予稿集原稿をご用意いただき、担当研究委員宛て、電子メールでご送付ください。6月の大会時理事会にて入会を正式承認し、ご報告いただくこととなります。

上記の諸点をご了解のうえ、現在非会員で大会報告をご希望の方は、締め切り時期までに、入会申込みならびに大会報告申込みをおこなってください。なお、上記要領は大会報告申込みのみに適用されます。9月締め切り予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿資格は、6月大会時理事会での入会承認が必要となりますから、現在非会員で入会後の投稿をご予定の方はお間違いないようお願いいたします。

■事務局からのお知らせとお願い

住所変更やEmailのアドレスを変更した場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当(学会のメールアドレス)までお知らせください(メールアドレス ws@univcoop.or.jp)。年度末に毎回十数通の不着が発生します。周辺でNewsletterを受信できていない方がいる場合は学会アドレスまでご連絡くださいますようお願いいたします。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局